

秋の陣 9月 その4

ただ今、令和元年度前期期末試験の真っ最中です。明日までの予定で実施し、その後3年生は3年間の評定が決定いたします。この決定によって、各種指定校推薦や、調査書の決定が行われ、秋の陣の深まりとともに、事務的な処理もつつがなく進めてまいる所存です。3年生においては、まさに受験真っただ中に突入します。

ただ、この時期は、2次対策に入る時期でもあります。センター対策は、11月から再度開始することにして、10月いっぱいまでには、2次対策と私立の問題を各学校ごとに次々と消化していく時期です。

なぜかと申しますと、いわばセンターの後の準備期間でもあるということです。このころから、自分がたどり着く知識の全体像が見えてきますから、どこが足りてどこが足りないという値踏みを具体的に重ねていく時期でもあるのです。

また、第1陣の模擬試験の結果が出てくる時期でもあります。最終的な第一志望の状況を確認し、どのくらいをめどにB判定を勝ち取るまでの行程を確認してください。

さらには、受験時期のホテルの予約を行う時期でもあります。都市部の2次試験会場近くのホテルは、大手予備校によって1年前から予約が行われているのが現実です。昨年の反省から、JRなどの交通機関が仮にストップしても、サブルートを考えることのできる歩いて30分程度の場所を拠点として、大まかに受験スケジュールを取ることが大切です。

保護者の方々が、このスケジュール調整に参加いただければ、生徒の方の重みも少しは軽くなるのではないかと考えますが、生徒はなるべく予算を切り詰めて負担をかけまいとするのが人情ですから、ぜひ、よく話し合っただけでよいと思います。

しかし、そのことで言い合いになったり、すれ違ったりすることは、本人のモチベーションにおいてマイナスになりますので、上手に行っていただければと思います。

自分たちの時の状況は、もはや通用しないところが大きい受験の現実ですが、都会の土地勘においては経験軸があると思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

昨年度の保護者の経験を現3年生は、アンケート等を実施し自分たちのこととして考える機会を持っていただきました。2年生や1年生の保護者の方々も、その一端を垣間見ていただければ幸いです。ただし、耳学問にならず、あくまでも生徒の考えを尊重していただくことが肝要かと考えます。

